

SHO JAKU KAN

書籍館

vol.2

2010
SPRING

CONTENTS

断片的な情報よりも大きな物語を 言語文化教育研究センター准教授 立林良一先生…	2
図書館を探検！	4
レファレンスカウンター紹介 図書館講習会・情報探索の技	6
INTERVIEW2 文学部国文学科 岸本琴音さん	8
展示紹介	9
所蔵資料紹介 “Rolling Stone”(ローリング・ストーン) 言語文化教育研究センター教授 遠藤徹先生	10



協定校のあるメキシコ プエブラのバルで



メキシコでのスペイン語サマープログラム
後ろはテオティワカンの月のピラミッド

断片的な情報よりも 大きな物語を

言語文化教育研究センター准教授
立林 良一 先生

地球の時間と人間の時間

21世紀に入って10年目を迎えた現在、人類の存亡に関わる重大事として、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出抑制の問題が盛んに論じられています。確かにこれは人類にとっては喫緊の課題でしょうが、6500万年前にユカタン半島に落下した巨大隕石が引き起こした環境の激変に比べれば、この程度の二酸化炭素濃度の上昇など取るに足りない現象と言えないこともありません。かつて激変した環境は2億年続いた恐竜の時代に終止符を打った後、250万年ほどかけて、またゆっくりと元の安定した状態を取り戻しました。もしも仮に人類がこのまま絶滅の道をたどったとしても、地球そのものは、そんなことは何の関係もなく、新たな環境に適応した生物をのせて太陽の周りをまわり続けていくことでしょう。

ここで注目してほしいのは、100万年、1000万年という地質学的な時間スケールと、私たちの時間スケールとの圧倒的落

差です。私たちの直接の祖先が地球上に初めて出現したのはおよそ10万年前ですが、氷河期が終わり農耕牧畜生活を始めて古代文明を築いたのはたかだかこの1万年ほどのことに過ぎません。2億年続いた恐竜の時代と比べても、その桁の違いがあまりぴんと来ないかもしれませんが、1万円と2億円に置き換えてみれば少しは実感がわくのではないのでしょうか。

〈科学〉と〈宗教〉という2つの物語

恐竜が2億年という果てしない時間をかけてついに化石しか残さなかったのに対し、なぜ人類はきわめて短期間に、自らの存続をも危うくさせるほどの高度な文明を発達させたのか。その根底にあるのは間違いなく言葉の力です。人類は言語を獲得したときから、この世界を解釈するための無数の物語を作り続けてきました。そのひとつが「科学」と呼ばれる物語群で、そ



『＜子ども＞のための哲学』
永井均 著
(講談社, 1996)



『時間を哲学する』
中島義道 著
(講談社, 1996)



『じぶん…この不思議な存在』
鷗田清一 著
(講談社, 1996)



『14歳からの哲学』
池田晶子 著 (トランスビュー, 2003)



『伝奇集』
ホルヘ・ルイス・ボルヘス 著
鼓直 訳
(岩波書店, 1993)

大今図/大田図 文庫・新書 I||R||792-1



『若い小説家に宛てた手紙』
マリオ・バルガス＝リョサ 著
木村榮一 訳
(新潮社, 2000)

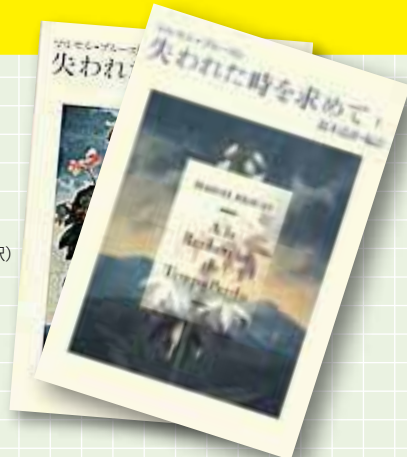
大田図 開架 901.3||V9434

『失われた時を求めて上・下』(抄訳)
マルセル・ブルースト 著
鈴木道彦 編・訳
(集英社, 1992)

大田図 第1開架 953||P429||1~2

『失われた時を求めて1~13』(全訳)
(集英社, 1996-2001)

大今図 B2階書庫 953||P432||1~13



れは初期のごく素朴なお話から始まり、何度も書き換えを繰り返すうちに、今ではビッグバンに始まるこの宇宙の成り立ちにすら迫る、非常に多様で複雑なストーリーへと進化をとげました。

そしてもう一方にあるのが生と死をめぐる物語群です。私たちは言葉の力によって「時間」という物語＝概念を獲得したとき、自分たちが皆いつかは必ず死すべき運命にあることをはっきり自覚しました。それは「神」とか「魂」、「天国」といった「宗教」と呼ばれる物語を生み出すと同時に、かけがえのない「自分」という物語をももたらしてくれました。私たちが他の動物と違って生きることへの実存的な苦悩を感じるのも、言葉によって「私」という認識＝自我を創り出したからこそです。青年期というのは特に生きることの意味や、自分という存在の不思議さに心を奪われやすい時期ですが、このようなテーマに興味がある人には永井均の『子ども』のための哲学』や中島義道『時間を哲学する』、鷺田清一『じぶん…この不思議な存在』、あるいは池田晶子の『14歳からの哲学』を始めとする一連の著作をお薦めします。

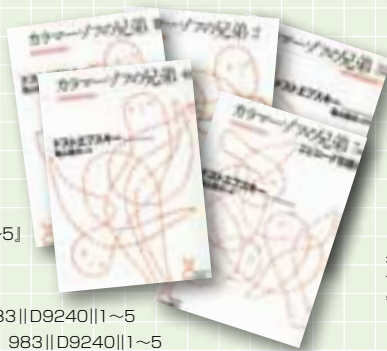
日常生活の中の物語

20世紀の世界文学に多大な影響を残したアルゼンチンの作家ボルヘスが「バベルの図書館」(『伝奇集』所収)という短篇において描き出したように、この世界は無限の書物＝物語を収めた図書館ととらえることが可能です。しかし同時に、物語を作り出すという行為は私たちの日常生活とも切り離せないものです。私たちがこの現実世界を生きていく中で確かな事実として断言できる事柄は決して多くはなく、不確かな部分については常に想像力を働かせながら必要な判断を下しています。それは言い換えれば絶えず物語を作り出しているということなのです。他人との会話において、相手の言葉の裏に隠された真意をおもんばかっているときはもちろんのこと、様々な出来事に遭遇したときも即座にそれに自分なりの物語を与えて、整合性のある解釈を作り出そうとします。何か重大な事件や事故が起

きたとき、当事者や目撃者の証言がしばしば食い違うのも、各自がそれぞれの物語を語っていると考えれば当然といえます。私たちを取り巻く現実が、実はかなりの部分、物語＝虚構によって成り立っているとするならば、虚構として書かれた小説を現実に対置させるのではなく、もうひとつの現実と考えることも十分可能になります。そうした考え方を私に示してくれたのはバルガス＝リョサというペルーの現代作家で、『若い小説家に宛てた手紙』という文学論には、虚構としての物語を作り出す意義が分かりやすく述べられています。

人生の財産となる読書

この10年ほどの間にパソコンやインターネット、そしてグーグルに代表される検索エンジンの急速な進歩、普及によって図書館を取り巻く環境は一変しました。必要な情報を素早く的確に手に入れるための情報リテラシーは、これからの社会を生きていくうえで疑いの余地なく必須です。本学でも各学部や図書館が、そのための様々なカリキュラムや講座を用意しています。しかし私がここであえて訴えたいのは、そうした情報収集技術の必要性を認めた上で、学生時代には断片的情報に振り回されすぎることなく、もっと大きな物語、それぞれの学問分野で古典として評価の確立した書物を、じっくり時間をかけ、できるだけたくさん読んでほしいということです。それは例えば文学ならば『カラマーゾフの兄弟』や、本誌の第1号で中村百合子先生が挙げておられた『失われた時を求めて』、あるいは私に関わるスペイン語の世界でいえば『ドン・キホーテ』のような小説です。学生時代の充実した読書体験はお金では買えない大きな財産となって、今後の人生を何倍にも豊かなものにしてくれるはずです。またそうした読書から得た教養が、いずれ広い世界に出ていき、様々な人々と出会ったとき、専門的な知識以上に物を言うことにもなるのです。



『カラマーゾフの兄弟1~5』
ドストエフスキー 著
亀山郁夫 訳
(光文社, 2006-2007)

大今図 開架 983||D9240||1~5

大田図 第1開架 983||D9240||1~5



『ドン・キホーテ前編1~3
後編1~3』
セルバンテス 著
牛島信明 訳
(岩波書店, 2001)

大今図/大田図 文庫・新書 I||R||721-1~6

大学の図書館ってどんなことができるのかな？



2階



E 資料はコピーできるの？

F 図書館内でパソコンを使いたい!

A **どこで試験勉強を
したらいいの？**

Bグループ
学習室3、4



- ★Point**

B 友達と一緒に勉強したい!!

C 展示って何をやっているの？

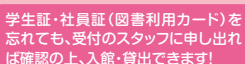
D 図書、辞書、雑誌はどこにあるの？

地下1階

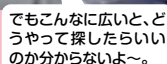


DOORSサプリ

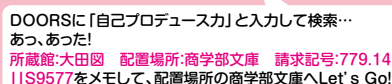
ドキドキの初潜入



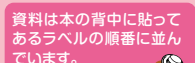
読みたい本を探そう



トアース
そんなときは「DOORS」を使ってみよう。DOORSは同志社大学・同志社女子大学に持っている資料を検索できます！



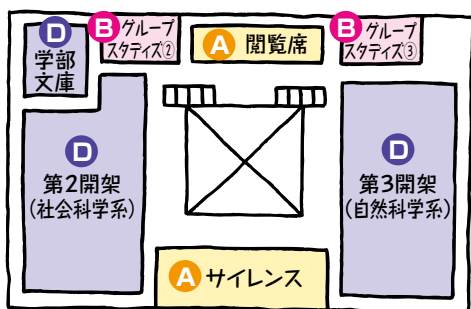
探していた本が



ラーネット記念図書館



3階



A

どこで試験勉強をしたらいいの?

スタディールーム、サイレンスの他、各開架の近くには閲覧席があります。サイレンスでは電卓とパソコンの持込利用を禁止していますので、静かに学習したいあなたにオススメです。

D

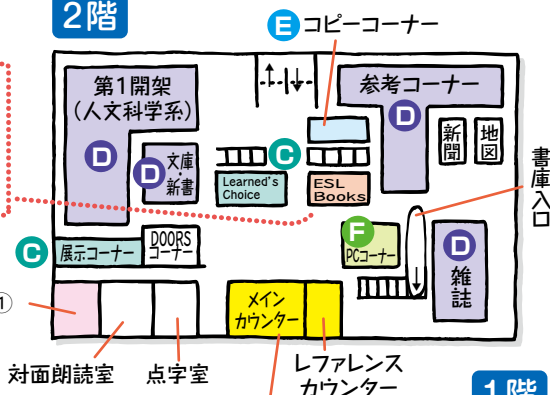
図書、辞書、雑誌はどこにあるの?

図書：第1・第2・第3開架
各学部の父母会で購入した図書…学部文庫
手に入りやすい文庫本や新書…文庫・新書
辞書：参考コーナー
辞書や事典、白書、年鑑など
雑誌：雑誌コーナー(参考コーナー・雑誌コーナーの資料は貸出できません)

2階

★Point

英語の勉強がしたいなら、ESLが便利！DOORSで検索できない資料なので、直接見に来てね。



E

資料はコピーできるの?

コイン式コピーを設置しているよ。館内資料のコピーにかぎります。著作権を守ってコピーしよう。

F

図書館内でパソコンを使いたい!

1階のPCラボ、PCコーナー(32台)、2階のPCコーナー(12台)にインターネット接続のパソコンがあるよ。データベースも利用してみよう。

B

友達と一緒に勉強したい!!

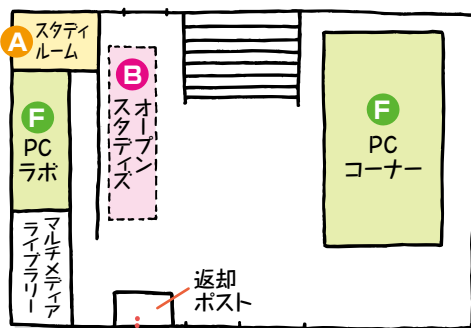
グループスタディズ
グループ単位での学習に利用できます。
メインカウンターで申し込んでね。

C

展示ってなにをやっているの?

2階メインカウンター前スペースにてLearned's Choiceを開催しています。
ななめ向かいの展示コーナーでは、企画展示をしています。年に何回かわるのでときどきのぞいてみてくださいね。 [詳細はP9へ](#)

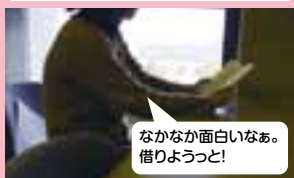
1階



★Point

図書館が閉まっていたらこちらのポストへ返却してね!

館内ではルールを守ろう!



借りたいなあ…



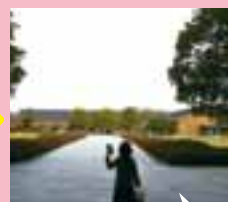
貸出手续の際は学生証・社員証(図書利用カード)と貸出したい資料を持ってメインカウンターへ来てください。期間は2週間、10冊まで貸出できます(開架資料)。逐次刊行物(雑誌、新聞など)、視聴覚資料などは貸出できません。

分からない!

図書館のことで何か困ったり、わからないことがあるときは、どうしたらいいの?



楽しかったあ





レファレンスカウンターって どんなこと

GoogleやYahoo!で検索すればほとんどなんでも情報を得ることができる時代になりました。あふれる情報を上手く使いこなせるようになるのが大学生。論文やレポートを書くのにググってコピペなんてもっての外! 信頼性の高い情報を自分で探して、選んで、利用できる、カッコいい大人を目指しましょう。

情報あふれる図書館に、どのように自分の探しているものを見つけたらよいのか迷ってしまった新生者がやってきましたよ。

ある日の 今出川図書館では...



本日のレファレンス担当者のBen-kです。
(2008年に誕生した同志社大学新キャラクター)新島襄の愛犬「弁慶」にちなんで名づけられたんだよ。



S<ん

映画などになっている「忠犬ハチ公」が亡くなった時の新聞記事って見ることはできるんですか?

S<ん

そんなこともできるんですか!? 新聞の現物を見なくてもパソコンから見ることはできるなんて、便利ですね。

Ben-k

ではまず、物事を調べるときの基本を押さえるためにも、**百科事典**を引いて、忠犬ハチ公について確実な情報を得よう。図書館の参考室に行って事典を探してもよいけれど、今回はとても便利なデータベースのひとつ、**「JapanKnowledge+ (ジャパンナレッジ・プラス)」**を使って検索してみよう。

データベースの中には有料のものを大学が契約して教員や学生に使えるように公開しているものもあるんだ。君もPCコーナーから使えるよ。

Ben-k

そうだよ。古い記事になるので、「**読売新聞 (ヨミダス歴史館)**」の明治・大正・昭和のころから検索してみよう。ちなみにこれは読売新聞の明治7 (1874) 年の創刊号から最新号まで1000万件以上の記事が検索・閲覧できるデータベースなんだ。



【「忠犬ハチ公」で検索中...】

検索結果を古い順に並べなおすと、1935年3月9日の夕刊に「恩を忘れるな」の主 忠犬「ハチ公」の死 数え切れぬ名誉の生涯 ほか」という記事があり、写真も記載されているのが分かるよ。実際の新聞記事を取り込んだ画像が見られるので、写真も記事も当時のものが見られるね。記事の内容を読むと実際に亡くなったのは8日だったみたいだね。古い新聞は縮刷版やマイクロ資料で見ることができるものもあるので、同じ日付で他の新聞も探してみてもどうでしょうか。

S<ん

たくさんある辞書の中から探したり、重い本を開かなくてもいいんですね! パソコンを使ってGoogleやYahoo!で検索するみたいな感覚で、信頼性の高い情報が手に入るなんて、使わないと損ですよ。

Ben-k

そうだね。これひとつで数十冊の辞典や事典などを検索したのと同じ結果が得られるんだよ。活用してね。

【「忠犬ハチ公」で検索中...】

辞典・事典系から3つ結果が返ってきたね。「日本大百科全書 (ニッポニカ)」という百科事典の記述を見てみると、「秋田犬。出生 (1923) の翌年から東京帝国大学農学部教授上野英三郎に飼われて、朝天山手 (やまのて) 線渋谷駅に教授を送迎し、1925年 (大正14) 教授の死後もその姿を求めて、死ぬ (1935) まで渋谷駅を離れなかったという。(後略)」とあることから、亡くなったのは、1935年であることが分かったね。1935年の新聞を見るといいのだけれど、1年分目を通すのはとても手間がかかる。そこで、**新聞記事**もデータベースから検索してみよう。

S<ん

はい、そうします! さっきの検索結果の他の記事を見ると、ハチ公の生前にすでに銅像ができていたことや、10日には告別式まで行われていたことがわかりますね。ありがとうございます。



情報探索の技

上の事例で紹介した技をもっと知りたい人は、空いた時間にお友達と一緒にこんな講習会を受けてみよう (無料だよ!)

入門

役立つ! 図書館活用術 (館内ツアーあり)

両校地図書館では、みなさんの課題や研究に役立つ講習会を開催しています。個々の学習段階に応じて無理なくステップアップできるよう設定されています。是非参加してみてください!

初級

30分で分かる

- 本の探し方
- 雑誌記事・論文の探し方
- 百科事典の活用法
- 新聞記事の探し方
- 判例の探し方

読んでみよう!

- 話題の理系資料
- 話題の裁判資料

本もデータベースもたくさんあって、どれをどう使っていいのか分からない! そんなあなたにオススメです。



解決してくれるの??

ある日の ラーネッド記念図書館では…



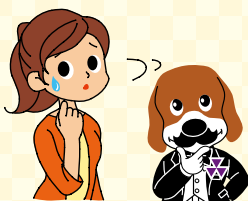
ノギスとは…

スケールの一端の顎と、スケール上を移動できる顎との間に測定物を挟み長さを測定する道具。
(日本国語大辞典)



Jさん

実験でノギスを使って計測するのですが、先生にノギスの測定誤差も考慮して実験結果を出しなさいって言われたんです。くでもどう調べたらよいのか分からなくて…。



Jさん

へえ〜。インターネットの情報は信頼できないと思いこんでいたけど、正しく使えばレポートにも役立つんですね。それに『情報探索の技』には統計情報や人物情報などの検索に役立つ使い方も載っているんだ。家でじっくり読んでみます。

Ben-k

JISCのホームページは信頼性が高い情報が集まっている上に、JISの検索もできるんだよ!

Jさん

じゃあ早速JISCのホームページ内のJIS検索からノギスの規格を調べてみます。

【JISC内のJIS検索から「ノギス」を検索中…】

ありました!ウェブ上で全文が見られるんですね。便利だなあ。

あつ、性能の項に「ノギスの器差の許容値」がありました。これがノギスの精度ということですね。(器差=器械誤差)

Jさん

JISって聞いたことはあるけど、よく分かりません。少しGoogleで調べてみます。

【Googleで「JIS」を検索中…】

『JISC(日本工業標準調査会)』のホームページが見つかりました。

JISって『日本工業規格』のことなんですね!

Ben-k

よかったね。ちなみに『JISC』のページでは全文の閲覧は出来るけど、印刷・購入はできません。そんなときは図書館にある冊子を利用してね。

ラーネッド記念図書館では第3開架(自然科学分野)にJISコーナーがあるよ。

あとノギス以外にも、洋服のS、M、LのサイズなんかもJIS規格で定められているんだよ。

Jさん

へえ〜。JISって身近なものなんですね! 一度JISコーナーに行ってみようかな。ありがとうございました。



いいページを見つけたね!

インターネットの情報は、信頼できるものもあれば、中にはいい加減なものもあるよ。

今見つけた『JISC』のホームページのアドレスを見てみてよ。ドメインが「go.jp」となっているよね。これは日本の政府機関が使うドメインだよ。政府が発信する公式な情報なので、信頼性はかなり高いと言えるでしょう。

他にも日本の会社なら「co.jp」、大学なら「ac.jp」…など、そこから発信元を見分けることもできるんだよ。

インターネットの上手な使い方については、図書館ホームページの『情報探索の技』に詳しく載っているから、見てみよう。

【『情報探索の技』へアクセス…】



講習会に参加できないときには…

情報探索の技(図書館ホームページ内)



<http://www.doshisha.ac.jp/library/technique/index.html>

中級

90分でパッチリ

- ・レポートテーマ探索の術
- ・科学技術文献の探し方
- ・洋文献へのアプローチ
- ・法令・判例の探し方

プロが教える

- ・ウェブ情報の効果的利用法
- ・政策・統計・経営資料の集め方
- ・政府資料の集め方
- ・キーワード検索がわかる
- ・米政府情報の集め方

プロが教えるシリーズではおもしろい発見があるかもしれないよ。行ってみよう!



図書館大好き学生の

文学部国文学科 新2年次生 **岸本 琴音**さん

書籍館第2号に登場いただくのは岸本琴音さんです。岸本さんはラーネッド記念図書館をよく利用されています。今回はそのきっかけや本とのつながり、これからの図書館に対する期待などをお話していただきました。



図書館スタッフの安藤さんと…

— 岸本さんは図書館をよく利用されているようですが、まずそのきっかけからお話ください。

小さい頃から本が大好きだったんです。たまたま家の近くに図書館があったので、母に連れて行ってもらい、読み聞かせの会にも参加していました。小学生高学年の頃には、一冊の本からそれに関連する本も読んだりして、本や図書館の世界が広がりました。

— 国文学科に進まれたのもそのような理由からでしょうか。

はい。現在は必修科目で日本文学講読をやっていて、秋学期は近世小説の授業と向田邦子さんの小説の授業を取っていました。

授業では、『思い出トラップ』に収録された作品をいくつか読んだんですが、図書館で借りて読んだ『男とき女とき』(大田図 文庫・新書 SW||ム|| 3-4)も面白かったです。

また、向田さんとよく一緒に仕事をされていた久世光彦さんを授業で知って、そのエッセイを読んだりもしました。大学に入学してから私にとってますます図書館は必要不可欠なものになっています。

— 初めて大学の図書館に接したときには、どのような印象を持ちましたか。

大学図書館って本屋さんとは違い、専門書がたくさんあるのかなと思っていました。実際来て見て、専門書に限らず想像以上に多種多様な本があることに驚きました。一番興味深く感じたところは、古い本が所蔵されているところです。以前から井上ひさしさんの戯曲『薮原校校』(大田図 文庫・新書 SW||イ|| 14-15)を読みたいと思っていたのですが、何年も前に絶版になって今まで読めなかったのです。それが図書館にあり、読めたのは嬉しかったですね。井上ひさしさんの戯曲は言葉の選び方が面白く、特に江戸時代を舞台にした時はすごくエネルギーにあふれている感じがします。江戸時代に目の見えない人が出世することについていろいろ考えさせられてしまいました。

— 岸本さんにとっての「This is my favorite ラーネッド記念図書館！」はどこですか？

レファレンスカウンターです。レポートを書くのに、こういうことが知りたいけど、どういう言葉で何を検索すればいいかわからない、という時があります。そんなときに相談すると、その言葉では探している情報が得にくいので、まずは事典などで全体の情報を得たほうが良いなど、自分では気付かなかったヒントをもらえました。

他にも資料がなく困っていたときには、他大学からの資料の取寄せや、家の近くの図書館に資料があることを、データベースなどを使って案内してくださりました。いつも資料を入

手するために一番よい方法を状況に応じて探してくださるので、本当にお世話になっています。

— それは私たちも嬉しく励みになります。1年間図書館を使われてきたと思いますが、これから図書館へ期待することはありますか？

家の近くの図書館では、季節毎にテーマにあった本を入口近くに展示しているんです。ラーネッド記念図書館でも「Learned's Choice」ですか、展示をされていますよね。とても良いと思います。専門書や学術書ばかりではなく小説や案内書、How-to本なども気軽に手に取って読めて、そこから興味が広がるかもしれないので…。

— それは嬉しいです。この4月から開催の「Learned's Choice」では学生時代に読みたい本の紹介を行います。岸本さんから新入生にオススメの本はありますか？

すぐには思い浮かばないのですが…、基礎演習の先生から紹介された『理科系の作文技術』(大田図 文庫・新書 CS|||| 624)という本かな。私のように文系だと「理科系の～」という本は手に取ることが少ないと思うのですが、読んでみると文系の私にも非常に役立ちました。自分の専攻外の本を読むことも刺激があって面白いと思います。

あと新入生にオススメというのとは少しずれますが、最近読んだ本で面白かったのはアゴタ・クリストフの『悪童日記』(大田図 第1開架 953|| K106-1F)と上橋菜穂子の『獣の奏者』(大田図 文庫・新書 KDB||ウ|| 59-1,2)、それから『どうして書くの？ 穂村弘対談集』でした。『どうして書くの？』では歌人の穂村さんと、作家の高橋源一郎さん、長嶋有さん、川上弘美さんなどが対談していました。作家だけでなく、同じ表現の仕事として歌手の青窈さんとも対談されていて面白かったです。

— なるほど。最後に新入生に向けて図書館をうまく利用する秘訣をお願いします。

本を読んだり調べものをしたりする際に、行き詰まったときには恥ずかしがらずにレファレンスカウンターを活用して下さい。きっと新しい発見があると思います。一人であれこれ考えると、つい思考の迷路に入り込んでしまうと思います。そんなときはぜひレファレンスカウンターへ相談されることをオススメします。

— 今日はありがとうございました。これからもヨロシク！

インタビューこぼれ話

本誌インタビューではハニカミながらも真摯に答えていただきました。小学生の頃から礼拝や賛美歌と縁が深く、現在は学生聖歌隊の一員として、活動されているそうです。これからも、図書館を活用していっそう充実した学生生活を送ってください。

2010年1月8日 ラーネッド記念図書館にて



今出川図書館

老木に花咲いて —中野譜庫と同志社マンドリン—

時期 2010年3月1日～5月31日

場所 今出川図書館B1階展示コーナー

1985年、名古屋の音楽家中野二郎氏は、65年にわたって蒐集したマンドリンおよびギター関係の楽譜コレクションを本学に寄贈されました。中野氏ご自身により「中野譜庫」と名付けられ、氏の没後、さらなる資料の遺贈を加え、現在では質・量ともに世界有数のコレクションとなっています。そして本学は2009年12月、『中野譜庫』の楽譜・図書・逐次刊行物を掲載した『同志社大学中野譜庫目録』を刊行しました。

また中野氏は、1963年から1984年まで、20数年にわたり同志社大学マンドリンクラブを指導してこられました。マンドリンクラブの創立は1910年(明治43年)で、同志社のグリーククラブのメンバー数人が、器楽の必要を感じてマンドリンを始めたのが基となりました。マンドリン合奏の学生団体としては日本で最も古いクラブの一つです。

奇しくも2009年度は『同志社大学中野譜庫目録』の刊行と、同志社大学マンドリンクラブ設立100周年という記念すべき年となり、今年度最初の展示はそれを祝しての企画展です。『中野譜庫』の資料を中心とし、中野氏と深い関わりがある同志社大学マンドリンクラブに伝来している資料もあわせて展示しています。



企画展名「老木に花咲いて」は、中野氏が同志社大学マンドリンクラブの指導を退かれたあとで開催された1985年5月の「中野二郎先生謝恩定期演奏会」に寄せられた氏の文章からとりました。

皆様、是非とも足をとめてご覧ください。



マンドリンちゃん

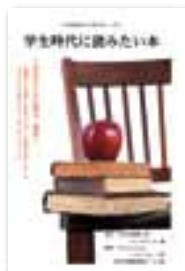
Imadegawa's collection

学生時代に読みたい本 —あなたの心に残る一冊を—

時期 2010年3月29日～5月31日

場所 今出川図書館1階
メインカウンター横

教職員から「学生時代に読みたい本」を募り、展示しています。学術書あり、専門書あり、小説のような軽い読み物ありと展示内容は多岐に渡ります。陽春の候、どっぷり読書に浸ってみてはいかがでしょうか。展示している資料は、逐次刊行物、視聴覚資料等をのぞき、通常通り貸出できます。



ラーネッド記念図書館

新島八重の生涯 —進取と矜持—

時期 2010年4月1日～2010年7月31日

場所 ラーネッド記念図書館2階 展示コーナー

2010年は新島襄の妻、新島八重生誕165年にあたります。八重の生涯を考えると、会津戦争、女丈夫、新島の妻、クリスチャン、篤志看護婦、などが浮かびます。

近年では八重の進取性が注目され、先進的な存在であったことが浮き彫りにされています。会津戦争時には銃砲を扱い、結婚後は洋服を着るなど、当時の女性と比べ特異な存在でありました。

八重の進取性とともに、注目したいのがその矜持をもった生きかたでしょう。

その生涯から会津戦争、同志社、篤志看護婦の各時代に焦点をあてた今回の展示で、八重の進取と矜持をもって生きた様を感じ取っていただければ幸いです。



協力：
同志社社史資料センター

Learned's Choice

学生時代に読みたい本 —LEARN TO LIVE AND LIVE TO LEARN— (生きるために学び、学ぶために生きよ)

時期 2010年4月1日～6月30日

場所 ラーネッド記念図書館2階
メインカウンター前スペース

ラーネッド記念図書館では、テーマに沿って選んだ資料を展示する「Learned's Choice」を開催しています。

第4回目のテーマは「学生時代に読みたい本 —LEARN TO LIVE AND LIVE TO LEARN—」。

今回は大学生のみなさんに読んでもらいたいオススメの1冊を先生方から推薦していただきました。研究を進めるために…、教養を深めるために…、同志社を知るために…、京都・奈良を知るために…。読み方はあなた次第！可能性は無限大！！講義では見られない先生方の青春時代が垣間見えるかもしれません。新しい季節を歩きはじめて皆さんを後押ししてくれるはず！ぜひゆくりご覧ください。



展示している資料は、逐次刊行物、視聴覚資料等をのぞき、通常通り貸出できます。

音楽が

「人を自由にする魔法」 だった頃

言語文化教育研究センター教授
遠藤 徹 先生



『Rolling Stone』(Straight Arrow Publishers, 1967-)
大田図 開架 1-438(1967-1985) P767||R

1973年にドクター・フック&ザ・メディスン・ショーというバンドが『あこがれのローリング・ストーン』という曲をヒットさせました。

原題は、The Cover of "Rolling Stone"つまり『「ローリング・ストーン」の表紙』という意味で、要は有名になって「ローリング・ストーン」誌の表紙に載りたいものだという憧れを歌ったものだったのです。

もちろん、学生の皆さんもこの雑誌のことはご存知でしょう。今でも書店に行けば最新版が手に入る現在進行中の雑誌だからです。けれども、現在では数多くある類似の音楽誌の中に埋もれている印象すらあるこの雑誌が、かつてはどれくらいの文化的な力を持っていたのかは、歴史をさかのぼらないとわからないかもしれません。70年代には、大学生にとってこの雑誌を読むことは1種の

「通過儀礼」とさえいわれたほどだったのです。

実は、同志社大学の図書館は、国内で唯一この「ローリング・ストーン」誌を1967年の創刊号から1985年の438号までそろえているのです。同志社で学ぶ機会を得た学生の皆さんが、この恩恵を利用しないのはもったいないことです。ですから、今回はこの雑誌について、もっとも熱かった始まりの時期に的を絞ってご紹介したいと思います。

ラーネッド記念図書館で申し込みをして、第1号が納められている大きなケースを受け取ってみましょう。

開けてみると、中にはすでに黄色く変色した大きなA3版で、24ページある白黒刷りのタブロイド新聞のようなものがいくつも入っています。現在では、カラー写真満載で大部のこの雑誌も、その出発点においてはまさに手作り感溢れるものだったのです。

この雑誌の創刊者は、ヤン・ウエナー。カリフォルニア大学バークレー校をドロップ・アウトして、フリー・スピーチ運動と呼ばれる学生運動に参加していた若者でした。当時は、社会に敷かれた既成のルールの上を歩むのではなく、そこから離脱(ドロップ・アウト)して、新しい生き方を模索することが若者のなかでヒップ(=かっこいい)とされていたのです。そして、それを実行に移した人たちがヒッピーと呼ばれたわけです。

そんなヒッピーによって創刊されたこの雑誌の、記念すべき第1号の表紙を飾るのはジョン・レノン。リチャード・レスター監督の『僕の戦争』という映画に出演したときのもので。これは、敵地のなかにクリケット場を作れと命じられた兵隊のてんやわんやを描いたもので、コメディを通して反戦を訴えた作品でした。ここに、この雑誌の目指した方向性を見て取ることができるでしょう。

さて、創刊の辞にウエナーはこんなことを書いています。この雑誌の名前は「転がる石は苔蒸さず(Rolling stone gathers no moss)」ということわざから取ったものであ



第1号
ジョン・レノン



第3号 ボブ・ディランへのインタビュー



第7号
ジミ・ヘンドリックス



第9号
イエロー・サブマリンの紹介

第10号
警官に暴行を
うける学生
の写真



る。そしてこの“Rolling Stone”という言葉はロックの創始者とも謳われるマディ・ウオータースの歌のタイトルでもあり、彼に敬意を表したロックバンド、ローリング・ストーンズのバンド名も、ボブ・ディランの最初のロック・ナンバー「ライク・ア・ローリング・ストーン」もすべてここに由来するのだと。

さらに、ウエナーは主張します。既成の商業誌は不正確で妥当性を欠いているし、ファン雑誌はあまりにも時代錯誤的で客観性がなさすぎる。だから、この雑誌は、そのいすれにも与せず「あなたを自由にする魔法」(＝音楽)を信じるすべての人のために作られるとそんな風に語っているのです。

実際、トップ記事は、非営利を謳ったモンレー・ポップ・フェスティバルが、結果的にはかなりの利益を上げていたことを批判するというもので、この雑誌の資本主義的なものの外側にユートピアを探そうとする姿勢がそこにはうかがえるといえるでしょう。

ほかにも、第3面には、ビートルズが作った総合会社アップルの新作ファッションの写真が載っています。しかも、その「極端に鮮やかなテクニカラーのジブシー」と評されたサイケかつ中世風な衣装を身にまとっているのは、パティ・ハリスン、シンシア・レノン、モーリーン・スターといったビートルズのメンバーの奥さんたちだったりします。

ほかにも、フォーク歌手ドノヴァンへのインタビューや、ギタリストとしてのジミ・ヘンドリックスとエリック・クラプトンを比較した記事など読み応え十分です。

第3号にはボブ・ディランへのインタビューが載っているし、第7号の表紙を飾っているのはジミ・ヘンドリックス、第9号ではビートルズの新作アニメ「イエロー・サブマリン」が紹介されていたりします。

扱われているのは音楽文化だけではありません。第10号の表紙には警官に暴行をうける学生の写真が掲載され、学生運動が権力に弾圧されることへの抗議がなされています。これは、Yip-inという学生たちによる新しい抗議形態に警察権力が介入したもので、YipとはYouth International Partyの略です。

「ロックンロールに起こった変化と、ロックンロールに影響を与えた変化を扱う」とウエナーが巻頭言で宣言したように、この雑誌には音楽だけではなく、映画やアート、そして政治運動まで、若者の目から見た当時の社会の全体像が描き出されているのです。そしてそれを逆にいえば、当時は音楽がそれだけ、社会や文化、さらには若者たちの人生と深くかかわっていたことを意味しています。

表紙を順に眺めていくだけでも、十分にカウンター・カルチャーな気分になれること請け合いです。



第1号 第3面
アップル新作ファッション





ラーネッド記念図書館

検 定

ラーネッド記念図書館を利用したことはありますか？
あまり利用したことのないあなたも、ヘビーユーザーのあなたも、まずは検定の答えを探しに、ぜひラーネッド記念図書館へお立ち寄りください。
(ヒントは、本誌やホームページにも載っているかも？)
答えと一緒に図書館の便利な活用法や興味深い資料を見つけることができます！

全問正解目指して
Let's try!



- Q1** ラーネッド記念図書館はどのキャンパスにあるか？
- Q2** ラーネッド記念図書館が設立された年は？
- Q3** ラーネッド記念図書館の「ラーネッド」の由来は？
- Q4** ラーネッド記念図書館の正面玄関前通路の両脇に咲いている花の名前は？
- Q5** ラーネッド記念図書館1Fのパソコンコーナーには、パソコンが何台設置されているか？
- Q6** ラーネッド記念図書館のメインカウンターは何階にあるか？
- Q7** ラーネッド記念図書館の文庫・新書コーナーは何階にあるか？
- Q8** ラーネッド記念図書館で現在メインカウンター前に展示されている「Learned's Choice」のテーマは？
- Q9** 4月からラーネッド記念図書館内で展示しているのは「○○ ○○の生涯」
- Q10** ラーネッド記念図書館作成のポスターに必ず入っているスローガンは？「自分 × ○○○ = ∞(可能性)」

全問正解者の中から、抽選で5名様にすてきなプレゼント！

解答用紙・応募BOXは、両校地図書館メインカウンター横にあります。

締切 2010年5月14日金 17:00
(解答用紙は返却しませんのでご了承ください)

当選者 5月19日 発表
解 答 京田辺：ラーネッド記念図書館メインカウンター前
今出川：今出川図書館前掲示板

本冊子 名前の由来

1885年12月18日の新島襄の日記「出遊記」には、「書籍館」という言葉が記されている。これは同志社の初代図書館(現有終館)の定礎式に臨んだときのものである。

この図書館報の名称「書籍館」(しょじやくかん)は、2009年11月の創刊にあたり、新島がいた124年前の原点に戻って、同志社大学図書館を再考したいという思いから名付けたものである。



同志社大学 図書館報 vol.2 書籍館 2010年4月1日発行

編集・発行:同志社大学図書館
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
Tel:075-251-3960 Email:ji-gakjo@mail.doshisha.ac.jp
<http://www.doshisha.ac.jp/library/>